



園だより 11月

平成27年10月27日

千代田区立麴町幼稚園

園長 山田 茂利

秋の澄み渡った青い空、色づいた木々の葉、正に芸術の秋と呼ぶにふさわしい季節。麴町幼稚園・小学校では「学芸会」を11月13日（金）・14日（土）に開催いたします。（保護者鑑賞日は14日です。）また、幼稚園では引き続き12月4日（金）・5日（土）に「こどもかい」を開催いたします。（保護者鑑賞日は5日です。）

今、子供たちは園生活を楽しく豊かなものにするために、次の2つのことをねらいにして作品（演劇）づくりに挑戦しています。

○登場人物になりきるにより、未知の世界、想像上の世界に思いを巡らし、その過程で、なぜ、どうしてという不思議さを感じたり、わくわく、ドキドキして驚いたり、感動したりする。また、悲しみや悔しさなど様々な気持ちに触れ、他人の痛みや思いを知る機会とする。

○作品（演劇）づくりという共通の経験や感動を、友達や教師と伝え合う中で、イメージを共有し合い、相手と一緒に立って見立てをし、役割を相互に決めて、それらしく動くことを楽しむ。

まさに学芸会やこどもかいは挑戦であり、友達と協力して新たな力を培うとともに、豊かな感性を養うことが大きな目標になります。

保護者の皆様には、子供たちが力を合わせて作品（演劇）づくりに挑戦している姿をご覧いただくとともに、温かな励ましをお願いいたします。

さて、作品（演劇）づくりに挑戦していく子供たちには、「自分で行うという力」「自分をおさえる力」「自分の役割を果たそうとする力」「一緒に行うという力」「友達を受け入れる力」などの力も養われます。そして、その力は様々な場面で無意識のうちに発揮され、そのことからよい結果が得られ自信となります。さらに、自信はやればきっとできるという力につながります。

そのような学芸会やこどもかいになればと考えています。

また、このような力は、日々の生活や遊びなどでも培われる力です。そのためにも様々な活動を通し、「できるようになった」という経験を多く積ませたいものです。

無論、なかなかできないこともあります。もう少し努力すればということもあります。それではどのようにすればよいか。

子供が「あきらめないで努力する」ためには、何より「好き」にさせることだと思います。

そのためには、次のような流れを作ることが大切です。

○好き→取り組む→できる→ほめる→さらに取り組む（続ける）→もっとできる→もっとほめる→ますます好きになる

（●一方悪い流れは：嫌い→努力しない→できない→叱る・注意する→おもしろくない→やらない→ますますやらない）

私たち大人にとっては、子供が●という澁みにとらわれることなく、○という良い流れに導き循環させてあげることが、大切な役割になるのではないのでしょうか。

だからこそ、本年度、度々お話ししています通り、未来への希望である子供たちを誉め、自分のよさやできるようになったことを実感できるよう、幼稚園・家庭・地域等がそれぞれの役割の中で教育に取り組んでまいりましょう。



～今月のねらい～

- 3歳 ☆同じ遊びをしている友達に、自分の思ったことを言葉に出しながら遊ぶことを楽しみます。
☆いろいろな材料を使って、作ったり描いたりすることを楽しみます。
☆落ち葉や木の実を使った遊びや製作など、秋ならではの体験を楽しみます。
- 4歳 ☆友達と遊ぶ中で、自分の思ったことを話したり、友達の考えも聞いたりして遊びを楽しみます。
☆学級のみんなで取り組む遊びの中で、自分の力を出しながらみんなで一緒に活動する楽しさを味わいます。
☆落ち葉や木の実を使って遊んだり、また観察したり触れたりしながら、秋の自然に親しみます。
- 5歳 ☆友達とイメージや考えを伝え合ったり、材料や用具を選んで必要な物や場を作ったりし、自分たちで遊びを進め実現していく楽しさを味わいます。
☆学級の友達と共通のめあてに向かって、役割を分担したり協力したりして取り組む楽しさを味わいます。
☆自然の恵みや循環する自然の不思議さに気づき、興味・関心を高めていきます。(脱穀した稲の籾殻の再利用、バケツ稲の土の始末、イチゴの親株から子株への苗の植え替えなど)